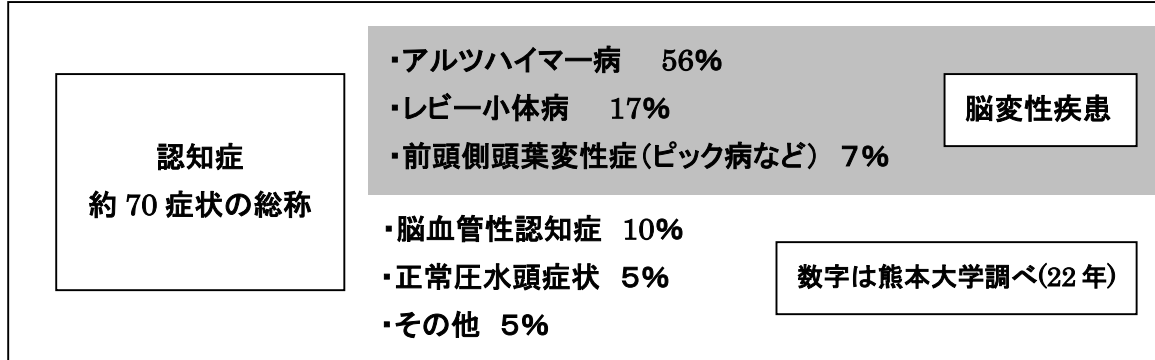
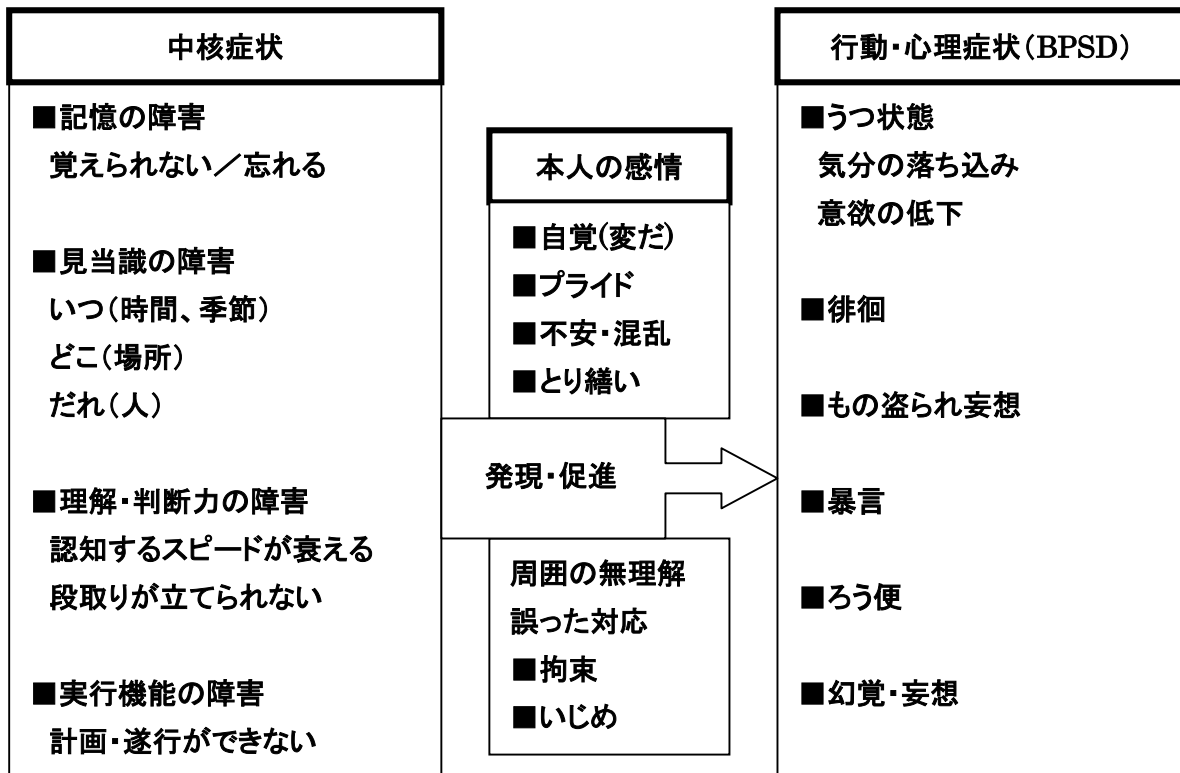


## 認知症の基礎

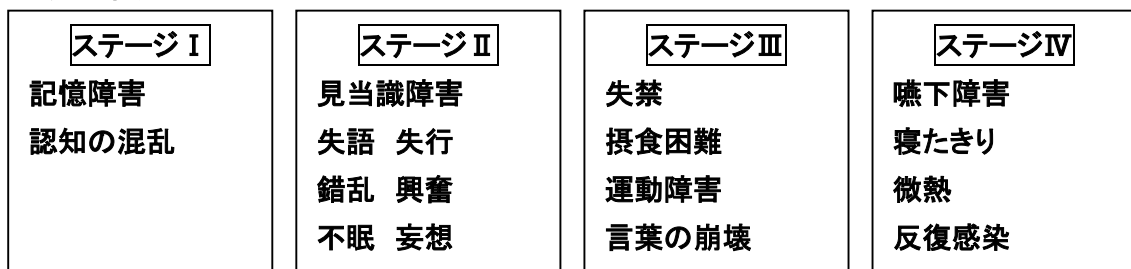
□認知症とは 「脳神経の働きが悪くなり、現実を正しく認識できない病気」



□症状



□認知症の経過



## 認知症の人への対応

### □会話のポイント

#### ■「本人が語れる」質問をする

昔のこと

→ 学校、故郷、仕事、暮らした町……

好きなこと

→ 趣味、好物……

反応する「物」を見つける

→ アルバム、遊び道具……

#### ■表情や動作に気を配る

会話についていけないときの「独特の表情」

### □ミニデイの流れ

1. 事前にプロフィールの確認 → (二人を)誰が、どのように出迎えるか
2. リラックスさせる → 観察。自己紹介(名札)。プログラムへのゆるやかな誘導。
3. 興奮時のクールダウン → 活動に固執しない → 居心地の良い場所の発見
4. プログラムを通じて、「本人が語れる」話題を引き出す
5. 本人と介護者、互いの自立(親ばなれ・子ばなれ)へ導く

## 早期発見と受診

### □セルフチェック

「きょうの日付」「最近のニュース」「野菜の名前3つ以上」

### □行動(困ったこと)の記録

### □受診(行動の記録を持参して)

かかりつけ医(認知症研修受診) 認知症サポート医 認知症専門医

「一所懸命」が、互いの負担になる。

「ひとの手」を借りる。貸す。